（三十日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢場所指定三十錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年十月一日　磐城新聞　（土曜日）　第二千五十七號　（一）

秋の婦人美

平町　吉田あを子

◇◇◇

秋は人の心もかん境も渡る秋は人の心もかん境も

◇晴れ〳〵とした感じになります、殊に婦人の姿はセルからあはせへの——それが一年を通じてもつとも美しく見えるものですから、着物の模様にもちよつとした心遣ひで着活かすことが出來るのです、その選び方について私の考へを申して見ますならば、第一條件はその時の自然からうける感じに適應することです、これはあながち秋に限つたことではありませんが秋のやうに自然の力を深く感じる時においてもつとも必要なことなのです

◇自然に適應するといふ言葉はいはゞ漠然としてゐますが、これは自然の形象を取入れるといふ意味ではありません、たとへば秋なるが故に秋草の模様を選ぶといつた意味ではなく秋の心をある色と形とかりて表象するのです、このやうにいひますとむづかしく響きますが實際にはさほど困難なことではありません、要は基本として色地であることを要します、無地といつてもかなりの地紋があるぎ、目には飛び紋様の如きものは、必要でしようが

◇色の配合は單に着物のみで得ることなく、着物の外半ゆり、帶、帶上、帶止、はき物のすべてを通じて色の照應を計らねばなりません、中にも半ゆりと帶とは着物を活しも殺しもする重要な役目をもつてゐます、和服にたける帶の形式はいづれの國の服裝にもないのはいふまでもありませんが、和服のいづれもが直線からなつてゐるにもかゝはらず帶だけが横線をなしてゐて、衣服の姿や整へ容を美しくいたしますにはいまの季節が一番適してゐます、天空のすみ渡る秋は人の心もかん境も

◇晴れ〳〵とした感じになります、殊に婦人の姿はセルからあはせへの——それが一年を通じてもつとも美しく見えるものですから、着物の模様にもちよつとした心遣ひで着活かすことが出來るのです、その選び方について私の考へを申して見ますならば、第一條件はその時の自然からうける感じに適應することです、これはあながち秋に限つたことではありませんが秋のやうに自然の力を深く感じる時においてもつとも必要なことなのです

◇自然に適應するといふ言葉はいはゞ漠然としてゐますが、これは自然の形象を取入れるといふ意味ではありません、たとへば秋なるが故に秋草の模様を選ぶといつた意味ではなく秋の心をある色と形とかりて表象するのです、このやうにいひますとむづかしく響きますが實際にはさほど困難なことではありません、要は基本として色地であることを要します、無地といつてもかなりの地紋があるぎ、目には飛び紋様の如きものは、必要でしようが

◇色の配合は單に着物のみで得ることなく、着物の外半ゆり、帶、帶上、帶止、はき物のすべてを通じて色の照應を計らねばなりません、中にも半ゆりと帶とは着物を活しも殺しもする重要な役目をもつてゐます、和服にたける帶の形式はいづれの國の服裝にもないのはいふまでもありませんが、和服のいづれもが直線からなつてゐるにもかゝはらず帶だけが横線をなしてゐて、衣服の

◇上下をしや斷してゐるのは實に大膽な手法といふべきで、これを活用もなければ和服の美しさは見られません、そこでそれ等の色の取合せは秋の季節とすれば、半ゆりがもつとも明るく、帶がこれに次ぎ、着物は濃い深みのある明るさのものを用ひるのがよいはすであります

※……八月　新月　十日
※……明日　舊暦六月　一日
※……の吉凶

▲一白　新しき事に手を前す時は幾ロ悔あるべし▲二黒　内を調ふを先にすれば外はおのづから順に行くべし▲三碧　一時的の利慾に心を飜れば大罰を招くべし▲四緑　獨立にて事を企つる時は仕損じ多かるべし▲五黄　事の半ばにして深き迷ひに入り敗を招く日▲六白　人の言ふことに氣を奪はぬ樣すれば吉日▲七赤　内も外もよき日婚約入學開業普請何れも可▲八白　平隱の如くにて内に陰鬱の氣の潛み居る日▲九紫　目上の引立てある吉日思はざる福も入來る

講談　ちゃんと洗ふ

(151)

高橋掬太郎創作

布施平八郎揮毫

怪人詮議

七人の在否を確めにつかわした近習の侍ゐ戻つて來た。

『如何であつた、七人の者は在宅であつたか』

と重太夫が待ちかねたように聞ふた。

『はゝ、七人ながら不在でございました』

『なに七人ながら不在であつたと？して何處へまいつたのか聞ふて來たか』

重太夫は胸を躍らかしながら急き込んで訊いた。

昌康も軍治も、お照の方せぬ、殊に怪人は血に飢ねもそさてこそと心中に不安を感じて顏を見合つた。

『七人ながら昨夜何處へか出かけたまゝ歸つて來ぬとせぬ』

と重太夫は昌康に相槌を打つた。

『然し憎きは怪人の所業である、何奴かは知らぬが我に仇なす不屆の奴、何とか致して取押へ重き刑に處せねば腹の虫が癒ねぬ、どうぢや重太夫、軍治、何とよい思案はないか、どうぢやお照の方せぬ、殊に怪人は血に飢ねたれるもよし神部殿が討たれるもよしと存じまする』

と重太夫は勸めた

『怪人の正體が何であるかもそれに依つて相判るかも知れませぬ、と存じまする』

『うむ』

『怪人が神部清左工門でなく、又何の關係もないならその何れかと討つか討たれましぬが、彼に怪人の詮議を命じて樣子を見るのも』

『成程』

『さあ——それは』

と兩人は顏を見合つて當惑げに考へ込んでゐたが重太夫が顏を上げて

『主君！』と呼んだ

『ウム、何かよい思案があるか！』

『妙策がございまする』

『うむ、どう云ふ策ぢや、云ふてみい』

昌康は膝を進めた

『それは他でもございませぬが、如何でありませうか神部殿に怪人の詮議を命じては……』

『ナニ、神部に怪人の詮議を命せよとな……』

『御存知の如く、神部清左工門は怪人のようにも思はれる次第で眞僞の程は判りませぬが、彼に怪人の詮議を命じて樣子を見るのも』

『成程』

山中風藥

定價一週分九〇　二週分一、七〇　三週分二、五〇

動脈硬化症、腦溢血、半身不隨、言語難澁、其の他中風より起れる諸症に偉効を奏す

……是非御試用を勸む……

平町五丁目角

代理店　山野邊藥局

磐城病院

平町田町通り

電話一一四番

御需めの方は

平白銀町

吉田新聞店へ

電話四十八

磐城病院

平町田町本通り

入院隨時　（電話一一四番）

内科、外科、婦人科、小兒科、花柳病科。

清水屋

石城小名濱町

小野晋平

銘酒　各炭鑛御用達

電話六番

清世界吉

釀造元

診察無料

如何なる重患でも直ちに癒る三十日の大谷へ御出下さい

院長博士　敬白

大谷時計病院

電話一九番

萬年瓦

深キ經驗ト正シキ學理ヲ基トシテ最新ノ設備ト優秀ナル技巧ニ依リ多產簾賣益々聲價漲ル

仙臺高等工業學校試驗証明

鐵道省
福島縣廳
栃木縣廳
青森縣廳　指定品

福島縣四倉町

萬年瓦工業株式會社

電話三八番

松村病院

平南町　電話七〇一

診療時間　夜間

胃腸　内科　十二指腸虫病　専門　内科部

梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　専門　外科部

營業種目

内地材　材木各種、羽柄材各種建築諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負其他

佐藤材木店

常磐線平町新川町

電話三三五番

三百年の古い歴史と他の模擬の出來ない獨特の芳香と色澤を有つ

上醬油

醸造元　銚子醬油株式會社

平町田町

特約店　廣瀬支店

電話五四番

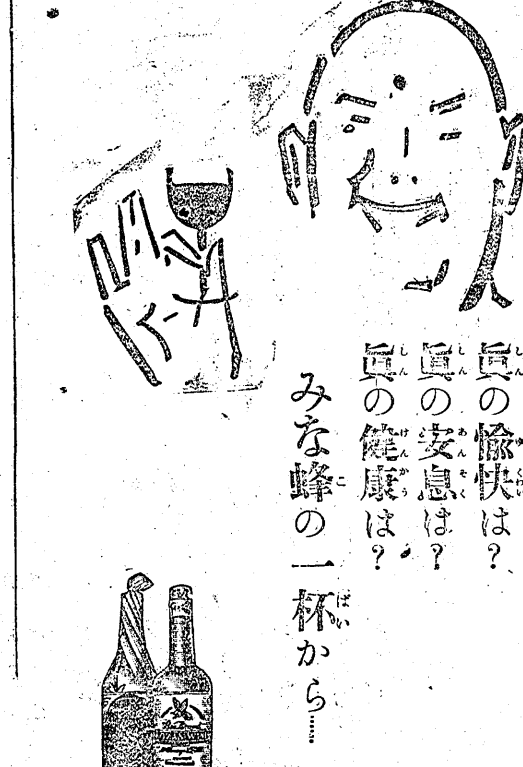
内科　小兒科　皮膚科　花柳科

平町舊城跡（城山）

醫學士　青沼淡夫

青沼醫院

電話四〇三番



野崎滿藏氏の選擧違反事件益々擴大
引き續いて家宅捜査
島倉檢事正急據來平
平檢事局總動員

石城民政黨新縣議野崎滿藏氏に係る選擧違反事件は二十八日以來平檢事局の大活動となり二十八日早朝平町才槌小路料理店壽司本こと小野鶴松(三〇)並に平町一丁目赤津人力車挽子岸沼貞夫(五二)北川秀彦(四九)の三名に拘引狀を發し嚴重取調べを續行し栗城千代藏(三九)外凡そ廿數名を平署に引致嚴重取調べをなし二十九日午前十時に至り石坂受命判事、三笠檢事一行は平町田町縣會議員野崎滿藏氏方の家宅捜査を行ひ有力な證據書類を押收して引き上げた旨昨夕刊所報の如くであるが更に午後三時より野崎候補の選擧事務長たる平町田町吉田五平氏方の家宅捜査を行つたが今三十日早朝より三笠檢事一行は自動車を飛ばして某方面に急行し活動を續けてゐるが目下平署留置場には六七名の者が留置され猪狩署長自ら嚴重取調中でなほ島倉檢事正は本日午後來平本件の捜査並に處理を指揮してゐるが某縣議の身邊危機に瀕せるものと見るに充分な節あり非常に注目されてゐる

遂に三名收監

野崎派の選擧違反事件はいよ〳〵進轉し今三十日午前八時より平署樓上に於て嚴重取調べを受けてゐた前項小野、北川、外一名は罪狀全く明白となり午後一時四十分窪田檢事の令狀により平刑務所に收容されたが取調べの進行と共に愈々某巨頭の身邊に及ぶらしく觀側されてゐる

秋季期節に入つても紹介依然不振
求職十對求人三
平町地方の昨今

石城郡地方は秋賞季節に入つて一向世間の景氣は快復しない、農村といはず、漁村といはず疲弊困憊は極度に達し青年はどん〳〵故郷を飛出して都會地にあつまる、華やかな表面生活にあこがれて入り込んではみても、都會生活のくるしさは一層ひどい、何か

職業を求めやうと平町紹介所に申願つても、求人者のは一向ない、あつても土工或は飯食店の出前持ち、外交販賣員などで雜務員などは一人もない、人數の上から見た一ケ月求人者十五人、求職者百人といふ狀態である、女の方はと見れば、求人が四人、求職者十三人で皆職にありつけさうなものだが、料理店の女中奉公、お母などばかりで就職する人はこれ又見當らない、中には四十歳の女が四ッになる女兒を抱へて泣き込んだといふ氣の毒な人もあれば一人の老母と共に住み込希望の女もあつた

變つた處 では旅藝人の一行が仕事にアフレ旅費の工面に紹介所通ひするもあれど、さて藝人向きの仕事とはなんであらうと係員も平向してゐる、最近縣外移動紹介を試みてゐるが東北各郡では岩手、福島などの勞働者の團体が一ケ月位に11三件位のも、あとは北海道樺太から來る季節的紹介である

生活百態（六）
刑事の眼にも人間の淚は光る
職業なればこそ
一刑事の述懷

「人を見たら泥棒と思へ」と昔の人は言つたさうだが文化人にそんな非禮を要求したら忽ち擊退される、たゞさうした心理をもつてゐる階級(?)を求めるとすれば差當り刑事さんなんかが適り役だ、と言つたら叱られるかな

然し刑事の眼は心は寢ても起きても泥棒やスリを捕へることに滿たされてゐるのだ、因果な商賣だといへばそれまでだが、それが職務に忠實なる所以であるのだから仕方がない

「刑事といふ商賣は面白いもんかね」と筆者は或る刑事に聞いてみたことがある

「面白い時もある、辛いこともある、痛快な時もあり飛んだ失敗を演じた時もあるが、そんなことは問題でないよ、俺の職務を遂行するまでだ」と笑つて答へたことだ、もつと事ぃ話を續けてみやう

好きでやつてる職業だから文句も言へないが、恐らく刑事ほど世間に嫌はれる職業がないねその點では新聞記者以上だよ、いや全く刑事を長くやつてると人間味といふやつなんかすつかり乾上つてしまふ、そうだ、人をみたら泥棒とおもへだ、みるもの、きくものすべてが惡だ、罪人だ、僕たちがどんなにもがいても肩書のついてる以上やつばり異端視されてゐるより仕方がないさア

勤務時間規則もあるにはあるが殆ど亂脈だ、晝夜の差別がない一日ブッ通し働いてゐるより他にない、誰だつて功名心がある一人でも餘計に犯人を摑まへることが僕たちの勤めだ、爪い垢ほどの市井の出來事に對しても僕たちの六感は異常な鋭さで働いてくる僕たちには淚が不必要だ、摑まへればいゝ、眞相を捉へればいゝ、僕たちは冷たい一ケの官吏に過ぎないからだ

とはいふものゝ、時には我れながら淺ましいと思ふ時がある、そんな時には今まで誇つてゐた職業的優越感が木ッ葉微塵に粉碎されてしまふ、そしてほんとうの人間らしい人間の心に返つてしみじみ人生の相をみつめて暗然とする、そこは君、やつぱり人間だからね

わ……

と聲を呑んだ、そのすがたはまことにうら淋しい感じを與へるに充分だつた、なんと諸君、あまり刑事君の惡口を叩かないことですね。

亭主の枕邊近く人妻に暴行
坑夫長屋を襲つた
平三郎逮捕さる

内郷村大字高坂磐城炭礦坑夫長屋佐藤常吉方に今三十日午前三時頃裏戶を捻じ開け忍込んだ覆面の男があるのを常吉の妻フデ(三九)が目をさましたので件の怪漢は矢庭にフデを其の場に

押倒し怪 しからぬ振舞に出でんとしたがフデは死者狂ひとなつて救を求めたので夫常吉が目を覺したため目的を果さず男はその爲表手を蹴破つて逃走した急報に依り同村駐在佐藤巡查は時を移さず追跡し同村山林中に追詰め件の男を逮捕本署に引致目下青田部長主任となつて嚴重取調を續けてゐるが此奴は當時住所不定無職(物科)三犯南會津郡伊北村生れ目黑平三郎(三〇)で昨年二月窃盜罪で福島刑務所に

收監去る 十八日出獄し後當地方に流れ込み炭礦方面で一働きせんとして徘徊中途に窃盜の目的をもつて常吉方に忍込んだものであるが常吉の妻フデが可成の美人であつたため强姦せんとした旨自白した

同僚殺し淺吉が控訴
八年に不服で

石城郡内郷村南宮字蛭子六五土工福田淺吉(五二)は磐城炭礦に勞働中同輩なる上遠野菊次と爭論の末同人を匕首を以て殺害し福島地方裁判所平支部において殺人罪により懲役八年の判決を言渡されたのに服せず宮城控訴院に控訴して來た

役場が總動員で選擧名簿作成
來春執行の總選擧に
平町で四千余名

平町では明春執行される衆議院議員總選擧名簿作成の爲豫て申告用紙を一般に配付し去る二十日迄に申告なさしめ十月中旬頃迄には遅くも全部の整理を完結して縣へ送達する豫定であつたが這般の選擧騷ぎ等で殆ど其申告の順調を缺いてゐるので各區長に依賴すると共に吏員を督勵して申告の促進を計つてゐるが縣議選擧の有權者より約一割五分は增加を見るであらうと豫想されてゐるので整理にも尚一層困難を來すべきは勿論であるから此際至急申告をして貰ひたいと語つてゐた

郡農會で麥作改良案
原種を配布

石城郡地方麥收獲高は現在三萬三千石作付反別二千百五十六町四反歩で一段歩當り一石六斗の麥收成績を示しているが郡農會で調査の結果なほ一割二歩の增收を得る餘地があるのでこれが改良發達を計り本朝麥作の六割は奬勵品種に更新すべく縣農事試驗場より麥類第二次採種ぼ原種として▲宮城六角二號六斗▲關厚三號一石二斗五升▲五畝四石一斗一升▲砂田達磨廿一號、四斗▲白裸二號一斗合計二石四斗六升を購入各町村農會に配付することになり二十七日それ〴〵配付を開始した

愈々抽籤で決める平町の陪審員
六百五十名から十五名
今卅日調査終る

郡下各町村役場では十月より實施せる陪審法裁判につき來る十一月三十日までに陪審員候補者名簿を作り管かつ地方裁判所長まで差出すのだが、平町役場では今度陪審員資格者名簿作成中のところ今三十日漸く完成した、それによると平町には六百五十四名の有資格者があるが、その中更に抽せんの上陪審員候補者十五名を上げ候補者名簿を作り福島地方裁判所長へ提出することになつた

平町地方の米價尻上り
大勢好轉步調

平町地方に於ける正米市況は過般政府が買上を發表して以來其條件が當時の正米界に適せざる方法だつたと收穫に直面して却つて人氣を惡化し低落步調を辿るに至れるため地米など三圓方の暴落を見るほどあつたが其後に至り各產地の洪水による被害甚大なるを傳へられた結果本月中旬後半に及大勢轉換し好轉步調を辿るに至つたため折角値下を發表して中流以下を喜ばせんとした米價も又々尻上がりの狀態となつて來た

双葉民派の頭目收容
違反事件擴大

浪江署管内に選擧違反事件突發し平區裁判所檢事局より二十七日窪田檢事早川書記出張釘本派事務長渡邊己八郎氏の家宅捜索を行ひ一部書類を押收し直に同氏を平刑務所へ收容しなほ同派事務所島方の家宅捜索も行つた結果島田虎藏石川順の兩名を浪江署に召喚取調べを行ひ二十九日午前二時平刑務所へ收容し關係者五名を檢擧取調べをすゝめてゐるが事件はます〳〵擴大する模樣で地方民は不安の念にかられ早くも身をかくしたものもあると傳へられてゐるが二十八日苅野村岸安長も選擧違反の行爲ありとし浪江署にて取調べをうけ即日歸宅を許された

一の井の賣出　平町

田町一の井では開業三十年記念としてトンカツ、メンチカツレツ、ライスカレを各十五錢に特に期節物の松茸フライ一品三十錢で明一日から賣出しを始めることとなつたが評判よし

小田炭礦の新斜坑着炭
出炭日三百噸

好間村小田炭礦では今春行入澤斜坑の開鑿を開始し進工中の處二十八日着炭したが出炭は一日約三百噸の炭質極めてよく前途非常に有望視されてゐる

石城獵友會秋季總會
協議會計報告

石城獵友會では去る廿六日役員會を開催し協議の結果來る二日午前十時から平警察署樓上に秋期總會を開催し今年度の會計報告並に縣聯合獵友會第六回大會の報告其の他次の如き協議事項を協議する筈であるが協議事項は

一、獵友會の支部設置速進に關する件二、徽章整理に關する件

古い自動車は用捨なく使用禁止
嚴重檢査を執行し
平署整理に着手

平警察署では來る十月廿一日から四日間管内自動車全部に對し例年の如く平町八幡小路グラウンドに於いて定期車体檢査を施行する事になつたが最近營業者が競爭激甚なる結果交通事故が頻發し、殊に自動車の車体の如きは全く使用に耐へざる程の破損車を使用して居る實收であるため平署今次の定期檢査は日割を例年に倍加し精密な檢査を決行し不良車体は片つ端から營業使用を禁止する筈で此のため管内自動車の營業者は各れも悄々としてゐる

今夜磐銀樓上梅浦氏講演
ロシア問題で

入山採炭株式會社專務梅浦健吉氏は露領森林利權交涉日本委員長として一ケ年半に亘り露都モスコーに滯在這般歸朝したが今三十日來山を機とし平町磐城銀行樓上に最近のロシヤ事情講演會を開催する旨既報の如くであるが山東鑛業株式會社支配人法學士太田文雄氏も同席上「山東の鑛業」と題し講演ある筈

山代吉宗氏から縣に損害請求
開票近に失格は不當と
正式に訴訟提起

石城郡から今回の縣議戰に立候補した勞農黨の山代吉宗氏は選擧開票決定直前において住居移轉により新選擧權のない事發覺し同氏の得票は全部無效に終つたが同氏は屆出でを受理して置きながら開票の瀨戶際になり失格させるとは不都合だとて縣を相手に失格による損害規定の運動費二千三百圓の損害請求の訴訟を提起した

支柱夫即死
作業中の危禍

内郷村大字白水字川中居住安達郡二本松町生れ入山炭礦支柱夫後山高橋由三(三二)は昨廿九日午前八時三十分頃入山第五坑北又右一卸附近に入坑支柱夫宮澤熊太郎と共に作業に從業中俄然落盤し下敷となつて壓死した平署から七海部長出張檢視の上屍体は實兄庄三郎に引渡した

創業三十周年紀念賣出し中
御後援を賜り候御禮として

特賣

トンカツレツ
メンチカツレツ
ライスカレー
各十五錢
其他相應じて格安

松茸フライ一品三十錢
十月一日ヨリ相始申候

洋式宴會仕出し

平町田町
一の井
電話一六七番

秋冬帽子案內

＝子供帽子
＝鳥打帽子
＝中折帽子

御好品ヲ澤山取揃ヘマシタ。

海岸線平町四
ツルヤ商店
電一四〇

齒科口腔一般

診療時間（午前七時ヨリ午後八時マデ）
但シ急患ハ此限リニアラズ

平町南町成田山前
鈴木齒科醫院
齒科醫 鈴木五郎

露領森林會議日本委員長 梅浦健吉先生

露西亞事情講演會

日時 今三十日午後五時より
場所 磐城銀行樓上に於て

多數來聽觀迎